

## 取扱説明書

簡易取り付け型

保管用



## ライティングダクト

(天井付専用)

ご使用になれる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。  
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

## 仕様

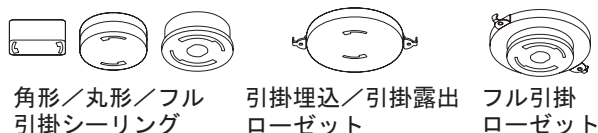
品番	取付可能器具合計質量	使用電圧	最大電流
TG-367	最大 5kg まで (片側 2.5kg まで)	AC100V(±6%)	6A (600W) まで

## この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

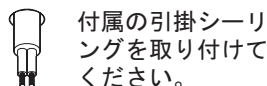
## 取り付け・取り扱上の注意

## すぐ取り付けられます

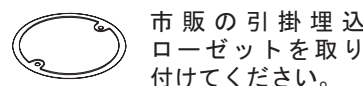


## 配線器具の取付工事が必要です

## 配線だけの場合



## アウトレットボックスの場合

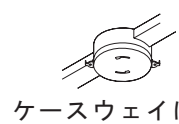


## ⚠ 警告

- ❌ 破損したりガタついている配線器具には取り付けしないでください。配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。(図1)
- ★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。
- ❌ 樹脂製ボックスカバーには取り付けしないでください。
- ★器具の落下事故の原因となります。
- ❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事がが必要です。
- ❗ 電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ❌ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
- ★感電事故や漏電の原因となります。
- ❌ 次のような場所には取り付けしないでください。(図2)
- ★器具の落下事故によるけがの原因となります。
- ❌ 最大電流(6Aまで)をこえて使用しないでください。
- ★火災の原因となります。
- ❌ 床面から1.8m以下の場所には取り付けしないでください。
- ★感電事故の原因となります。
- ❌ 器具に水をかけたり、ダクト内の内部などに触らないでください。
- ★感電、火災などの原因となります。
- ❌ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
- ★火災や感電事故の原因となります。
- ❌ ライティングダクトに照明器具以外の物をかぶせたり、吊るしたり、取り付けたりしないでください。
- また、指定質量以上(合計5kgまで)の器具を取り付けしないでください。
- ★落下、火災などの原因となります。



(図1)



(図2)

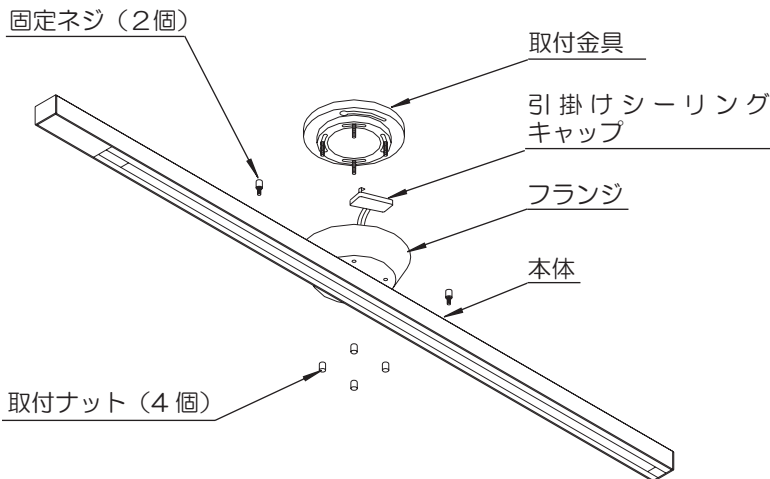
## ⚠ 注意

- ❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
- ★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。
- ❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
- ★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ❌ ライティングダクトにヒビが入っていたり、一部が欠けている場合は使用しないでください。
- ★感電事故や火災の原因となります。
- ❌ 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
- ★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- ❌ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
- ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ❌ リーラーペンダント・プルスイッチ付ペンダントは使用しないでください。
- ★器具の変形、落下の原因となります。
- ❌ 調光器と併用する場合は、白熱電球もしくは必ず調光器対応型のランプをお使いください。
- ★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。









# 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)  
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

## 【器具構成図】



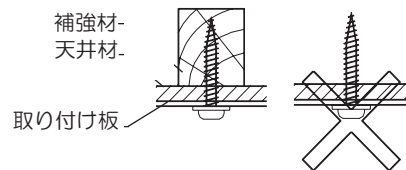
## 【付属品】

-  引掛けシーリングボディー・・・1個
- 取り付けは、工事店または電気店にご依頼ください。
-  ローゼット用ネジ・・・2本
-  木ネジ (引掛けシーリングボディー用)・・・2本
-  座付き木ネジ (取り付け金具用)・・・2本
-  六角レンチ・・・1本
-  アジャスター・・・1個
-  取り扱い説明書・・・1枚 (本書)
-  保証とアフターサービスについて・・・1枚

## 取り付け場所の確認

**警告** 取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。  
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

**注意** 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



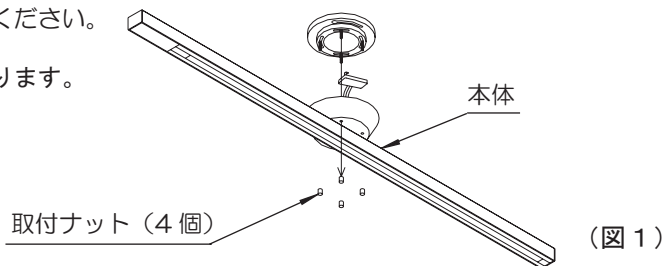
## 取り付け方

**注意** 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

**警告** 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。  
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

### ● 取り付ける前に

取付ナット (4個) をはずし  
本体をはずします。(図1)

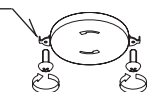


### 1. 取付板のセット

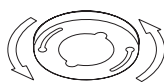
#### A: 引掛ローゼットが天井に付いている場合

引掛ローゼットの爪を利用して取り付けます。

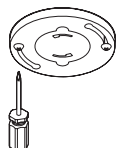
爪



① 引掛ローゼットの爪に、付属のローゼット用ネジを落ちない程度にねじ込みます



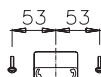
② 取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を止まるところまで左に回転させます。



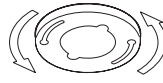
③ ネジをしっかり締めて固定します。

#### B: 引掛シーリングが天井についでる場合

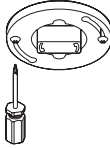
付属の座付き木ネジを利用して取り付けます。



① 引掛シーリングを中心に、左右 53 mm の位置に木ネジを 3分の1ほどねじ込みます。



② 取付板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を止まるところまで左に回転させます。



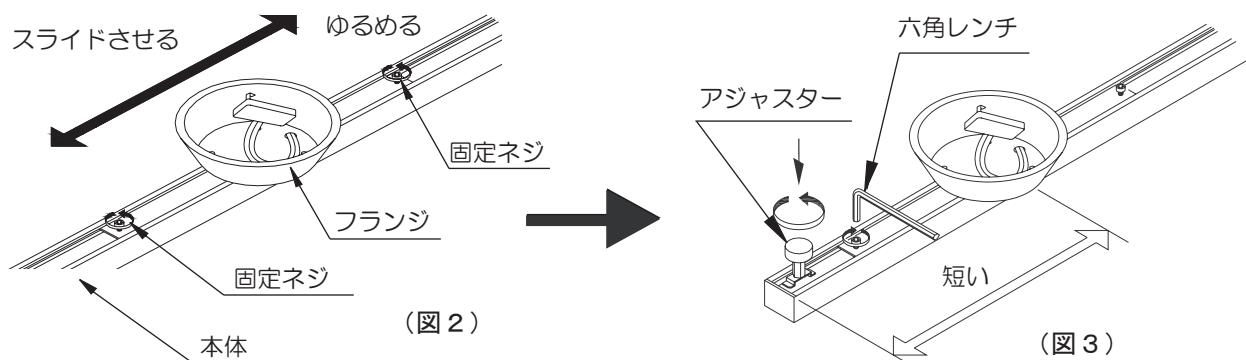
③ ネジをしっかり締めて固定します。

## 2. フランジ位置の調整

※この器具は本体中央の ▲ マークから両側へ 300mmスライド可能です。



①本体側を下にして固定ネジ（2個）をゆるめ、フランジをスライドさせ位置を調整します。（図2）

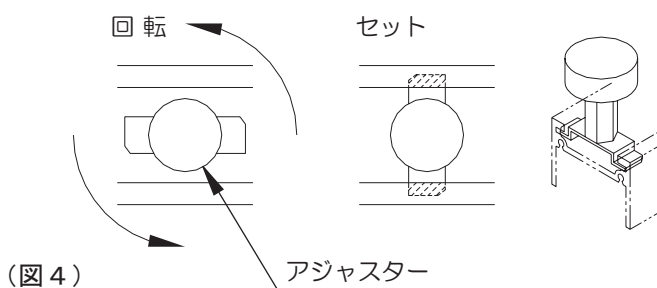


②フランジから本体の端までの距離を比べ、短い方の固定ネジを六角レンチを使って締め込み、位置を固定します。（図3）

③同様に短い方の端部にアジャスターを取付ます。本体に差し入れ左回転させセットしてください。（図3・図4）

- スライド機能を利用した取付をする際、照明器具を取り付けた位置、質量によっては、ライティングダクトがたわむ場合があります。質量制限内であれば問題ありませんが、アジャスターの取付をお勧めします。

アジャスターの取付方法

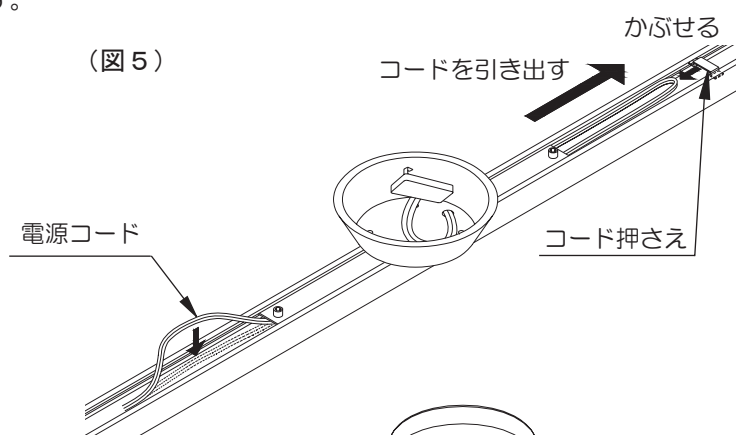


（図4）

（図5）

## 3. 電源コードを本体内に納めます。

- ①コード押えがある方へ余ったコードを引き出します。（図5）
- ②コード押さえをスライドさせコードにかぶせます。



## 4. フランジのセット

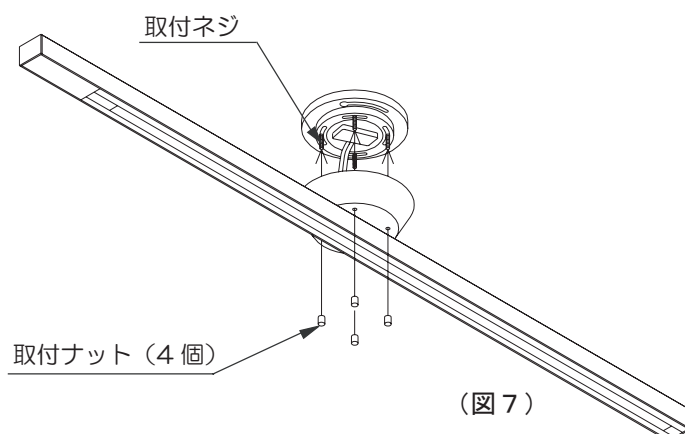
- ①引掛けシーリングキャップを引掛けローセットまたは、引掛けシーリングボディに差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。（図6）
- ②本体ごとフランジを持ち上げ、取付板の取付ネジをフランジの穴に合わせ入れます。（図7）
- ③取付ナット（4個）で取付板に固定します。（図7）

（図6） 引掛けシーリングキャップ

## 5. 本体の方向を調整します。

「●本体の方向調整」の項目をご参照ください。

- 注意** ① 本体の方向調整後、取付ナット（4個）と固定ネジが閉めこんでいることを確認してください。  
★器具の落下事故の原因となります。

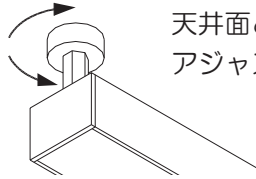


（図7）

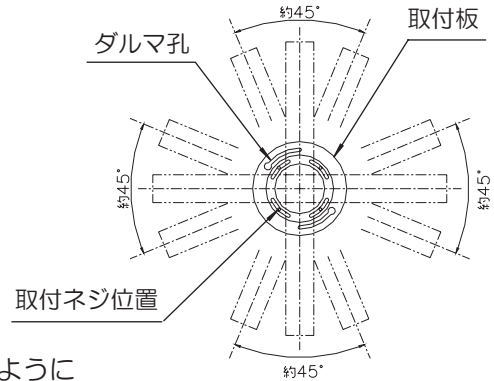
## 本体の方向調整 **△注意** ❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- △警告** ❶ 本体の方向調整は必ずスイッチを切ってから行ってください。  
★火災、感電事故の原因となります。  
本体の方向調整はライティングダクトに照明器具を取り付ける前に行ってください。  
★器具の変形、落下の原因となります。

- ①スイッチを切ります。
  - ②本体を支えながら取付ナット（4個）をゆるめます。
  - ③フランジごと本体を回転させ方向を調整します。
- ※取付時に取付板のダルマ孔の位置を調整することで全方向に調整可能です。
- ④取付ナット（4個）を締め込み方向を固定します。
  - ⑤アジャスターを調整します。



天井面とライティングダクトが水平になるようにアジャスターを回転させて調整します。



## 照明器具の取付

別売の照明器具の取扱説明書に従い器具を取り付けます。

- ライティングダクトへ照明器具を取り付ける際は、取付専用器具またはライティングダクト用引掛けシーリングをご使用ください。
- 照明器具を取り付けた位置、質量によっては、ライティングダクトがたわむ場合があります。質量制限内であれば問題ありませんので、そのままお使いください。

## スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

## お手入れについて

**△注意** ❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

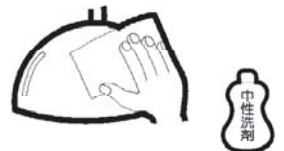
- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

### △注意

- ❶ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。  
★感電事故の原因となります。
- ⊘ ●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。  
●濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- ⊘ ●ランプは乱暴に扱わないでください。★ランプが割れてけがをする恐れがあります。  
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。取り付ける器具の取扱説明書をよく読み、正しいランプをご使用ください。  
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。  
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。  
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

## ◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



## ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談くだ